

議事録

会議の名称	令和4年度第2回戸田市総合教育会議
開催日時	令和5年3月20日(月) 15時00分 ~ 15時50分
開催場所	戸田市役所 4階 公室
出席者氏名	市長 : 菅原文仁 教育長 : 戸ヶ崎 勤 委員 : 仙波 憲一 委員 : 木村 雅文 委員 : 長道 修
出席職員	副市長 : 秋田 大輔 教育委員会事務局 部長 : 山上 睦只 次長 : 川和田 亨 教育政策室 室長 : 横田 洋和 課長 : 田野 正毅 くらし安心課 課長 : 中山 正之 児童青少年課 課長 : 田村 利子 教育総務課 課長 : 金澤 哲
事務局	市長公室 室長 : 住野 昌洋 主幹 : 重信 雄太 主事 : 小柳 和歌子
欠席者氏名	委員 : 浜田 美咲
議題	(1) 学校の安全対策について (2) その他
議事内容及び結果	各議題について担当より説明を行った後、委員と意見交換を行った。
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	別添のとおり
傍聴人	1人
議事録調製	小柳 和歌子

( 会議の経過 )

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p>只今から、「令和 4 年度第 2 回戸田市総合教育会議」を開会いたします。</p> <p>はじめに、菅原市長からご挨拶をお願いいたします。</p>
市長	<p>みなさん、こんにちは。市長の菅原でございます。この度は臨時の総合教育会議ということで、大変お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>本日は令和 5 年 3 月 1 日に市立美笹中学校で発生した事件を受け、市長部局と教育委員会が学校の安全対策について早急に検討する必要があることから、総合教育会議を開催させていただきました。短い時間ではありますが、学校の安全をどう作っていくかについて、本日は皆様に様々なご意見をいただき、今後の対策に結び付けていきたいと考えております。ぜひ忌憚のないご意見を頂ければと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、本日の議題に入らせていただきます。会議の進行は菅原市長をお願いいたします。</p>
市長	<p>それでは会議の進行役を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>はじめに、議題(1)についてですが、令和 5 年 3 月 1 日に美笹中学校で発生した事件について、私から一言改めて述べさせていただきます。</p> <p>まずは今回の事件につきましては、現在警察において捜査が進められておりますが、当市でこのような事件が発生したことに大きな衝撃を受けており、私自身強い憤りを感じております。そして、何よりも多くの児童生徒が恐怖や不安を抱えていることと思います。</p> <p>最優先すべき児童生徒の心のケアにつきましては、カウンセラーの緊急配置など、教育委員会に迅速に対応をしていただいているところです。</p> <p>また、本事件では本市の教員による大変勇敢な行動によって、生徒への被害が未然に防がれましたが、このような犯行から児童生徒と教職員をどう守っていくべきか、今回の事件を踏まえて一層の対策を取る必要があります。</p> <p>そのため、この総合教育会議を通じて教育委員会としっかり連携をするとともに、警察の御協力、保護者や地域の皆様の御理解をいただき、安全対策を早急に検討し、実施してまいりたいと思います。</p>

	<p>それでは議題に入ります。</p> <p>議題(1)の、学校の安全対策について議論していきたいと思いません。</p> <p>学校の安全対策は、実行可能な対策から速やかに実施しているところでございますが、予算措置が必要となる対策については、令和5年6月戸田市議会定例会への提案に向けて、今回の会議では、対策の方向性を意見交換させていただき、次回4月20日の会議では、ある程度具体化された対策案について、皆様と議論を交わしたいと思います。</p> <p>それでは、まず、私から、事件発生からこれまでに対応した主な取り組みについてご説明させていただきます。</p> <p>事件を受けまして、学校と教育委員会にて、主に3つの取り組みを実施していただきました。</p> <p>1つ目の美笹中学校への緊急的な措置といたしましては、警備員の配置や教育委員会職員による登下校時や授業時等の見守りでございます。</p> <p>2つ目の学校の安全管理・危機管理体制の徹底としては、校舎に出入りする方の確認、防犯カメラ等を活用した門扉や昇降口が閉じていることの確認、防犯マニュアルに基づいた対応の確認などでございます。</p> <p>そして3つ目の児童生徒への心のケアといたしましては、カウンセラーを緊急配置するなど、心のケアに重点をおいた取り組みを行っております。</p> <p>また、学校周辺では、市内300箇所の見守り防犯カメラによる犯罪抑止力を強化するため、市内18校全ての小中学校に「防犯カメラ監視中」の横断幕を新たに掲示したところでございます。</p> <p>続きまして、本事件を受け、校長会から不審者対応についての要望書の提出があったと伺っております。それも含めて、教育政策室よりご説明をお願いいたします。</p>
出席職員	<p>それでは、資料2をご覧ください。</p> <p>事件当日について、先程市長からも言及していただいたとおり、市教委の方から市内全小中学校には、校舎に出入りする方の確認の徹底、授業時の門扉や昇降口が閉じていることの確認、既存の防犯マニュアルに基づいた対応の確認を改めて指示いたしました。ま</p>

た、同日午後 7 時 30 分から、当該中学校において臨時保護者会を開催しております。

また、3 月 2 日木曜日には、カウンセラーの緊急配置や登下校時の見守りの強化等の対応を行い、その概要をホームページで公表しております。さらに、改めて学校の安全管理及び危機管理体制を確認するとともに、不審者侵入時の対応について、全教職員に対し共通理解を図り、周知徹底を市内全小中学校に依頼する旨の教育長通知を发出いたしました。合わせて、教育長からのメッセージを市内全小中学校に送付し、全児童生徒、保護者及び教職員に周知するよう依頼いたしました。

次に、3 月 3 日金曜日には、これまでに説明した教育長通知や教育長メッセージ等について、ホームページで公表いたしました。

また、戸田市長が戸田市議会 3 月定例会におきまして、本事件について言及されております。

3 月 6 日月曜日には、市内全小中学校の校長で構成される校長会議において、教育長から改めて本事件への対応について指示をいたしました。また、学校配置のスクールカウンセラーや相談員に加え、県教育委員会にも要請をし、当該中学校に毎日 1 名以上のスクールカウンセラーを緊急増員として配置することで、3 月 2 日以降継続的に子供達や教職員への心のケアに全力を尽くしております。事件後、ほとんどの生徒が登校はできている状態ですが、心のケアを第一に学校を支援していくとともに、引き続き学校安全の確保の徹底に努めてまいります。

最後に、本事件を受けまして、3 月 14 日に、戸田市立小中学校長会から不審者対応に係る緊急要望が提出されました。内容は大きく 5 点あります。

まず 1 つ目は、市内全小中学校における警備員の配置等についてです。小学校には全校配置されておりますが、同様に中学校にも警備員を配置し、さらに 2 名以上配置するように要望がありました。

2 つ目が、門扉、職員・来校者入口、児童生徒昇降口のオートロック化についてです。各学校は授業中に門扉や昇降口を閉めてはおりますが、遅れて来る児童生徒等が入校するため施錠まではしておりません。現在の施設の状況では、職員室や事務室と職員・来校者入口が離れている学校もあり、教職員がその都度開錠の対応をしていく必要があります。また、休み時間、体育の授業等における児童生徒の頻繁な出入りもあり、昇降口を常に施錠していくのは難しい状況もございます。そこで、遠隔操作で開錠や施錠ができるオート

	<p>ロック化や来校者の確認ができるようなモニター付きインターホンの設置の要望がありました。</p> <p>3つ目が、校内緊急通報システムの整備についてです。不審者侵入への対応には、危険を迅速に伝える校内緊急通報システムの整備が不可欠です。各教室へのインターホンや警報システムの設置、個人用の緊急通報ボタンなどの支給の要望がございました。</p> <p>4つ目は、学校における防犯用備品等の充実についてです。1から3までの対策を実施したとしてもなお、不審者が侵入し、不法な有形力の行使に及んだ場合、子供達の命を守るため、教職員は自分の身を守りながら不審者に対応しなければなりません。そこで、さすまた、防御盾、ネットランチャー、携行催涙スプレー等の対策備品の新規・追加配置の要望がありました。ただし、教職員が不審者に応戦すること等は教職員の本来業務ではなく、施設の整備等の対策が優先されるべきこと、武器等の携行は教職員の心理的な負担となったり、誤使用等による事故の心配があったりすることを、理解いただきたいとの要望がありました。</p> <p>5点目は、掲示物の設置や補修、巡回パトロールの充実についてです。抑止力となる掲示物の設置や、受付までの導線を示すライン等、または、門扉や生け垣の補修、さらには警察等の巡回パトロールの充実についての要望がありました。</p> <p>市教育委員会といたしましては、こうした要望をしっかりと受け止め、市長ともご相談をさせていただきながら、学校安全の確保の徹底に向け、さらなる対策を検討してまいりたいと思います。以上でございます。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>議題(1)の説明は、以上でございます。先ほど私が説明した掲示はこちらです。(「防犯カメラ設置地区」と書かれた横断幕をお見せし、)こちらを学校に、多いところは4か所、少ないところでも1か所、必ず学校の柵などに貼らせていただきました。大体学校には防犯カメラが付いておりますので、抑止力を高めるため掲示したところでは、</p> <p>それでは委員の皆様からご意見等を頂戴したいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>質問あるいはご提案をさせていただきます。今回このような事件が発生し、起きてしまったことはやむを得ないのですが、むしろ私が報道を見て考えたことは、その後の市と学校の対応がどのように行われるのかという点です。子供や親御さん、先生は、すごく不安</p>

に思われ、怖かったことと思います。その不安や恐怖感をどのようになくしていくか、癒していくかということがものすごく大事で、そのやり方を間違えてしまうと、「なんだ戸田市は」と、おそらく言われてしまうと思います。逆に言うと、その対応が上手であれば、「さすが教育の街 戸田」、「きちんとやっている」と評価を得られると思いました。それを踏まえると、今回の対応は素晴らしかったです。特に、スクールカウンセラーの増員等の緊急対応をしたことが大変適切だったと思います。もちろん細かく言えば色々あるかと思いますが、大きな流れとしては良かったと感じております。

今後として、やはり何か起きた時の訓練を積み重ねていかなければいけないと思いました。地震や洪水等の自然災害に対する防犯的な研修は既に結構ありますが、今回のような事件に対する防犯の研修も必要です。万が一、不審者が入って来た時にどのように対応するかについても訓練した方が良いと思います。今の子供達は、さすまたと言われてもわからないと思いますので、活用方法について研修を行うことが必要だと思います。

また、校長会からの要望について、現場にいる校長先生方は非常に身につまされた思いをして今回の要望書を出していると思います。要望書を拝見すると、必要な最小限に絞ってきちんとした要望を出していらっしゃる。オートロックや門扉、緊急システム等のお金がかかるものは一学校ではできない問題がありますので、防犯のためのシステム作りは戸田市として是非やっていただきたいです。具体的なことは要望書へ記載されていますのでご覧いただくとして、学校の先生方、校長先生方に希望するのは、配備していただいたものをいかに活用して運用するかということです。ハード面的なこと市に、ソフト面的なことを学校の先生方、校長先生方、あるいは教育委員会に運用・活用していただき、連携していくことで、無駄に配備することなく有効活用できます。例えば、学校では ICT がすごく進んでいますから、例えば Wi-Fi を使って、リモートのカメラで、侵入者が入ってきた時に音がする仕組みなども可能ではないかと思えます。今はスマートフォンがあれば、遠隔地で自分の家のペットが見られる時代です。ハード面は、市側がやろうとしていただかないと、なかなかできないと思います。それをうまく運用するためには、教育委員会と各学校と市が連携を取る必要があると感じました。

以上です。

市長	<p>不審者対応訓練については、事件後、蕨警察の警察官に来ていただいて迅速にやっていたように思います。もし教育政策室でご存じでしたら、事件後に訓練を行った学校がいくつあったのか、また今後やる予定があるのかを教えてくださいたいです。</p>
出席職員	<p>まず今のご質問ですが、教育長からの通知において、不審者侵入対応を含む避難訓練を計画的に実施することを改めてお願いしているところです。先程、市長からも言及がありましたが、事件の翌日に不審者対応訓練を短い時間で独自に実施した学校もあります。また、子供たちも含めてやっている学校もあれば、まずは教職員で意識合わせやシュミレーションを実施した学校もあると聞いております。具体的に何校かという数字までは今持っていないのですが、3月6日の校長会議でお願いをする以前からやっていたいている学校もありますし、それを受けてその後実施された学校もあり、各学校で計画的にご検討いただいているところです。</p>
市長	<p>グッズの活用については、種類が様々あり、新しい技術もありますので、現場で必要なものは何かも含め、提示できればと思います。また、予算化の件についても検討してまいりたいと思います。</p>
委員	<p>警備員についてですが、事件前と事件後の配置等状況で変更があれば教えてください。また、要望書にもありましたが、教職員が防犯グッズ等を使うことは本来の業務ではありませんが、緊急時の防犯対策として、さすまた以外にも、携帯用の催涙スプレーなどの現状置いてある備品と今後の展望等ありましたらお伺いしたいです。</p> <p>そして、是非中学校への警備員の配置につきましては改めてよろしくお伺いしたいと思います。よろしくお伺いいたします。</p>
市長	<p>それでは、その件につきまして担当者からお願いします。</p>
出席職員	<p>警備員の配置状況につきましては、事件前は小学校へ1名付いておりまして、中学校への配置はしておりませんでした。この事件を受け、教育委員会の予算を活用して当該中学校に3月9日から警備員を1名緊急配置して、今年度中まで警戒にあたっていたという状況です。警備員以外にも、市長部局や警察との連携を計りながら見守りの強化を行うとともに、市教育委員会から2名ずつ職員を常時配置して見守りを実施してまいりました。</p> <p>2点目の防犯グッズに関してですが、さすまたは各学校に複数本設置されていますし、ネットランチャーも各校に配備をしております。先程の教育長通知にもありますが、さすまた、ネットランチャー等の設置場所等の確認をお願いしますということを校長会議で</p>

	<p>も確認しておりますので、今後検討していきたいと考えております。ただ、防犯対策、防犯グッズを使うことは、教職員の本来業務ではありませんので、まずは設備の対策が優先されるべきかと思っております。</p> <p>また、武器等の携行等につきましては、教職員も自分が守らなければいけないのではないかとという心理的負担等もありますので、そのあたりは十分考慮すべきかと思っております。以上でございます。</p>
市長	<p>いずれにしても、必要不必要については人それぞれだと思いますので、現場との調整の中で、生徒、児童、先生方にとって何が一番良いのか判断していくことが必要かと思っております。</p> <p>以前、防刃手袋を見る機会があったのですが、切りつけられても絶対切れない、警備業界で使用されている物だそうです。中にプレートが入っていて、特殊な繊維で作られているそうです。こういった防犯グッズがあるという一例でご紹介いたしました。</p>
委員	<p>戸田市には子供の安全を守る日というのが6月8日にあります。これは、2001年6月8日に大阪教育大附属池田小で起きた事件がきっかけでした。この事件を機に、全国的に防犯に対する取り組みが始まり、大きく報道されていましたが、やはり数日経つと過去のものになってしまいます。その時は、学校の防犯マニュアル作成や防犯訓練をよく実施していました。警察を呼ぶなど、色々な方に来ていただき訓練を行っていました。小学校では、恐怖心を煽ってしまうからやめた方がいいのではないかとという問題もありましたが、この頃はそのような訓練をかなり行っていた時期でした。その経験が、今回のように戸田で事件が起きた時に、どう活かされたのかと思います。防犯マニュアルや防犯訓練、校内巡視や安全な点検など、学校側はしっかりやっていたと思います。やっていたけれどこのような事件が起きてしまったということは、どこかに穴があったのだと感じました。また、地域に開かれている学校という面もありますし、遅れてくる子どももいますので、全ての門を閉めるということは今後も難しいのではないかと思います。オートロックにするような装置などあれば良いと思いますが、予算的にもなかなか難しいのかもしれないです。ですので、せめてインターホンちゃんとした物を設置していただいた方がいいと思います。また、実際に防犯カメラで見て、不審者だと気付くことができるよう、皆の目で気付くような位置に置いておかなければいけないです。しかし、教員も自分の仕事があるので、誰も見ていないことも当然考えられます。事</p>



	<p>務の方など様々な方を含め、組織を挙げて対策をしていかなければならないと思います。教員も防犯マニュアルがしっかりしていても、なかなか対応できない場合には、その場に応じた指導をしていかなければならないと思います。また、やはり、色々な人の目がある状況が良いと思いますので、警備員は必要だと考えます。また、警備員が動いてくれるか定かではないので、学校全体でもう一度防犯マニュアルをもう一度見直して有効的なものにしていくことが必要だと思います。さらに、教職員で共通の理解をして、「このような場合はこの先生はこうする」というような見直しをするべきだと思います。実際に起きた場合には色々な対応が変わってくるので、校長会からも言われているように、人の目を多くするために、警備員を必ず入れていただきたいと思います。また、設備的には、門扉のロックやインターホンもあればと感じます。さらに、事件発生時の校内の連絡方法について、緊急の放送などの仕組みが校内にできていれば早く対応できますので、検討していただければと思います。</p> <p>最後に、本事件で対応されて怪我をされた先生に対して今後どのように対応されるのか教えてください。以上です。</p>
出席職員	<p>まず、マニュアルの見直しについては、危機管理マニュアルの見直しを含め、それに基づく対応について確認をするよう、教育長通知にて学校へ周知しております。</p> <p>また、緊急時の校内の放送については、不審者が侵入したことを校内に伝えるための方法を改めて確認してくださいとお伝えしております。その上で、3月6日月曜日の校長会議で、教育長からの指示があった事項として、防犯カメラやモニターは職員室の多くの職員が見やすい位置に改めて配置し直してくださいということをお願いしております。教頭先生からのみ見られる場所に配置されている例もあると聞いていますので、ちゃんと複数で確認できるようにしてくださいということをお伝えしております。</p> <p>また、既にどの学校でも作成している危機管理マニュアルに基づいた対応の確認として、具体的には、避難方法や経路、危機の周知の方法、応援の呼び方、警察への通報など、改めて自校のマニュアルを再度確認し、次年度に向けて見直しを図ってくださいと依頼しています。不審者への備えについては、各学校の実態等に応じて、マニュアルを更新していくようにしてくださいと伝えていきます。</p> <p>さらに、マニュアルを作って終わりではなく、形骸化させないた</p>

	<p>めにも全教職員を見直しに関わってもらいながら徹底していくことを目指していただきたいとお話をしているところでございます。</p> <p>また、警備員については、3月9日木曜日から美笹中学校に1名配置していますが、これは今年度末までとなっておりますので、来年度からどのように切れ目なくできるのかは市長部局とともに検討していく必要があると思っております。以上でございます。</p>
市長	<p>警備員についても、配置の仕方等を考え直しても良いと思っております。例えば、巡回方法はどうなっているのか、実際危機をどうやって防ぐか、ただ配置し立っていただければ良いのか等、現場の状況を警備会社と学校・教育委員会と調整し、何ができるのか考えていければと思っております。</p> <p>あとは、オートロックやインターホンは必要だと思っておりますので、しっかり対応していきたいと思っております。</p> <p>以上でございますが、全体として私自身が感じていることとして、心理的な安心感と物理的な安全を確保できる仕組みやルールを整える必要があるかと思えます。そのような仕組みがしっかり整っていると、犯罪に強い学校ができると思えます。ハードな部分もソフトな部分も対応して、皆さんに提示できることが大事だと思っております。</p>
委員	<p>先程の本事件で対応された先生についてですが、子どもにとっていわば防波堤になっていただきました。そのような時、先生全員がそうなれるかというとなかなか難しいと思えます。結果論ですが、その時偶然居合わせ、子どもを守っていただいた先生の行動はすごく勇気のある、称賛すべきことだと思えます。そういった意味で、感謝状を出すなどできれば良いと思えます。例えば、警察でも、人命救助をしてくださった市民へ賞状を授与することがあります。それと同じように、大いに子どものためになったので、何らかの形で感謝を表したいと思えます。</p>
市長	<p>私も感謝の気持ちを表したいと考えています。ただ、受け取る側のご意志などもあるので、慎重に、関係者の皆さんと調整してまいります。</p> <p>では、教育長からご意見をお願いいたします。</p>
教育長	<p>委員の皆様の御発言を受けて、私からは大きく3点申し上げたいと思えます。</p> <p>1点目は、来月1日、こども家庭庁の設置と同時に「こども基本法」も施行されることもあり、どの自治体でも、首長部局と教育委</p>

	<p>員会の切れ目のない連携体制の構築や関係機関を含めた「有機的な接続」も不可欠となってきました。まさに、本日の議題「学校の安全対策」などはその最たるものです。事件後に、すぐに市長から「支援できることは何か」という言葉がありました。この言葉こそ有機的な接続を体現したものと思いました。</p> <p>2点目として、こういった事案が起きる度に世間から指摘されるのは、校門の施錠、来校者の徹底したチェック、マニュアルに基づいた行動です。いずれも本音で言うと「掉棒打星の防犯防策」というか「不都合な真実」と言えなくもないと思います。「学校の要塞化」という言葉がありますが、特に施錠と来校者のチェックは、「地域や社会に開かれた学校」に反するとまでは言わないまでも、両立が非常に悩ましいところです。そもそも学校や公共施設は、所謂、性善説に基づいて建てられていると言っても過言ではありません。私はハード面では閉じる方に強化しつつ、ソフト面、つまり、教育活動などでは開く方に力を入れるということだと考えています。保護者や地域の方などに積極的に学校に入っていくことは、不審者を学校に近づかせないことになり、学校を守ることにつながるものと考えています。マニュアルについては、資料2の6ページにもありますが、基礎・基本を言語化したものであり、大切なのは臨機応変の応用力です。マニュアル通りに動くのではなく、マニュアルを知って動けるようになることです。</p> <p>3つ目に、事件の検証や再発防止策が必要ですが、戸田市だけでは限界があります。本市のこの事案をトリガーとして、全国の学校の防犯・安全対策が財政面を含めて前進するよう、埼玉県教育委員会に加えて、文科省など国や、防犯・安全対策の専門家の方々に何らかの検証をしていただきたいと思っています。できるだけ早いうちに現地に入りたいと考えています。</p> <p>最後に、これまで御支援をいただいたすべての関係者の御労苦に深く感謝申し上げます。そして、今後とも、切れ目ない有機的な連携体制の構築にまさにチーム戸田で努め、子供や教職員の安心・安全の確保にお力添えをいただきたくお願い申し上げます。</p>
市長	<p>ありがとうございます。今教育長から示唆に富んだお話をいただきましたので、関係機関を含めて、しっかり要望するところは要望しながら進めてまいります。市民の皆さんも日常生活で不安に思っている方が多いと思いますので、その解消につながるような自主的な対策につなげていきたいと考えております。4月20日までにしっ</p>

	<p>かり教育委員会と連携して、検討していければと思っていますので、是非ご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>本日頂戴しましたご意見、校長会のご要望を踏まえた上で、早急に具体化を図ってまいります。そして、具体化された対策を次回お示しいたします。</p> <p>以上で議題1を終了させていただきたいと思います。</p> <p>議題2「その他」として、委員及び事務局の皆様から何かございますか。</p>
	<p>特になしの声</p>
市長	<p>では本日予定されておりました議題は全て終了しました。委員の皆様、本日はありがとうございました。</p>
事務局	<p>以上を持ちまして、総合教育会議を終了させていただきます。本日はありがとうございました。</p>

この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人は次に署名する。

令和5年 5 月 9 日

菅原文仁

---

戸ヶ崎 勲

---

仙波憲一

---

木村雅文

---

長道 脩

---